



観光文化スポーツ部
観光振興課 誘客推進班
主任 佐々木 直

経歴：採用10年目

- R 2年 観光文化スポーツ部
観光振興課 誘客推進班
- H29年 企画振興部 市町村課
選挙班
- H26年 由利地域振興局 建設部
用地課 用地・管理班
- H23年 入庁
健康福祉部
健康推進課がん対策室

ある日のスケジュール

- 8:20 出勤
- 8:30 朝礼、メールチェック、
新聞記事確認
- 9:00 タイ市場の動向を確認
- 10:00 タイの事業者とweb会議
- 11:00 委託事業の内容を検討
- 11:30 観光用ウェブサイトの内容
確認、事業者へ連絡
- 12:00 昼休み
- 13:00 メールチェック、
関係者にメール送信
- 14:00 事業内容について課内検討
- 15:00 事業者に事業内容を指示
- 16:00 リーフレットの校正
- 17:00 業者に校正内容連絡
- 17:30 退庁
- 18:00 帰宅

わたしの職場はこんなところです

観光振興課は、「調整・観光地育成班」と「誘客推進班」の2班集体で、国内外の旅行者を秋田県に誘客するための仕事をしています。今年度は20代～60代まで幅広い年齢層の職員18名で構成されています。

わたしは今、こんな仕事をしています

「誘客推進班」に所属し、外国人旅行者を秋田県に誘客するための仕事をしています。現在は新型コロナウイルス感染症の影響で海外からの渡航が難しい状況であるため、インターネット上での宣伝や、体験型コンテンツの作成など、旅行が再開した時の旅先に秋田県を選んでもらうことができるような事業を行っています。

秋田県のここが好き！

観光振興課に異動して初めて気付きましたが、秋田県には名スポットがたくさんあります。しかし、県民ですら知らないスポットが多く、非常にもったいないと感じます。そのため、自分の仕事を通じてそれらの知名度を上げて行かねばならないと思います。

また、「人が少ない、自然が多い」という環境は、ウィズコロナ時代において、とても魅力的ではないでしょうか。満員電車がな、人混みが少ない日常はとてもいいと思います。

行政・一般事務職のやりがい(楽しさ)はここ！

一般的に3～4年程度で異動があり、私の場合は、がん対策→用地管理→選挙→観光と、異動のたびに全く別の分野への配属となり、法律や規則などを一から学ばなければならず、大変でした。

しかし、新しい分野に携わることで、自分の世界が色々な方向に広がると思います。この部分は、大変である半面、やりがいでもあると思います。

入庁してから、何か大変だったことはありますか？

市町村課選挙班で経験した選挙業務です。業務が短期に集中するため、長時間の勤務や、ミスが許されないプレッシャーなど心身ともに大変でしたが、班員がお互いに協力しながら、一丸となって乗り越える経験をすることができ、チームの大切さを実感することができました。

オフは何をしていますか？

コロナ禍でなかなか外出ができないので、幼稚園児の子供2人とswitch三昧です。子供は上達が早いため、スマブラでは幼稚園児に負かされないよう必死です。

どんな人と一緒に働きたいですか？

協調性とバランス感覚を持った人と働きたいです。県の業務は、一人で完結するものはほとんど無く、他の職員と協力したり、関係者とのやりとりをしたりと、協調性や調整力が必要になるシーンが多いです。また、事業をより良い方向に導くために、自分の考えをしっかりと持ち、それを反映させることはもちろん、他人の意見も柔軟に取り入れることができるバランス感覚も必要だと思います。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

大変な仕事もありますが、プロジェクトの達成や課題克服のために取り組む経験は必ず自分の成長につながると思います。また、他の業種とは比較にならないほど、様々な分野の経験ができるので、社会について多方面から知ることができます。すべての業務が県民のためになる仕事なので、やりがいもあります。

行政分野に興味がある方はぜひ御検討ください。



鹿角地域振興局 総務企画部
総務経理課 総務経理班
主事 庄司 遥斐

経歴：採用5年目

- H31年 鹿角地域振興局 総務企画部
総務経理課 総務経理班
- H29年 あきた未来創造部
あきた未来戦略課
科学振興・産学官連携班
- H28年 入庁
企画振興部 学術振興課
科学振興・産学官連携班

ある日のスケジュール

- 8:25 出勤
- 8:30 朝礼
- 9:00 開札・入札書等の確認
- 10:00 工事の支払事務
- 11:00 予算執行状況の確認
- 12:00 昼食
- 13:00 建設業許可関係の窓口業務
- 15:00 工事の契約関係の書類作成
- 16:00 公告文の作成
- 17:00 翌日のスケジュール確認
- 17:15 退庁
- 17:30 帰宅
- 18:30 夕食
- 20:00～21:00
バドミントン同好会の活動へ参加

わたしの職場はこんなところです

鹿角地域振興局総務企画部総務経理課では、振興局各部(総務企画部、農林部、建設部)の各種支払事務や工事経理などの予算執行管理業務を行っています。

20代・30代の若手職員が半数を占めていて活気があり、また、仕事以外の話でも気軽にできるような、とてもあたたかい職場です。

わたしは今、こんな仕事をしています

建設部の工事経理と、建設業許可に関する業務を担当しています。

工事経理では、建設部の職員と協力し、発注から契約、支払いまでの一連の事務をミスがないように進めています。建設業許可は、建設業者さんが新規に許可を取得する場合のほか、許可の更新や会社の体制等に変更があった際にも申請が必要なため、日々多くの書類が提出されます。関係法令を確認しながら書類の内容をチェックし、必要に応じて修正や追加提出をお願いすることもあります。

秋田県のここが好き！

秋田県はおいしい食べ物やお酒がたくさんあります。特に私が住んでいる鹿角地域では果物の生産が盛んで、桃やりんご、ぶどうなど、時期によって様々な果物がおいしく味わえます。お酒も県内各地でつくられていて、終業後には同僚と飲み比べをし、楽しんでます。

行政・一般事務職のやりがい(楽しさ)はここ！

総務・経理的な業務以外にも、移住定住や観光振興のための政策立案や、県税・福祉に関する業務など、幅広い業務に携わることができます。また、地域振興局や出先機関が県内各地にあるので、ひとつの地域に限定されずに、幅広い地域のために働くことができます。

入庁前に抱いていたイメージは、実際に働いてみて変わりましたか？

公務員は真面目で堅い人が多いのかな…と想像していましたが、ユニークで前向きな考え方の職員が多くいることに驚きました。アンテナが高く、県内の新しい情報を敏感にキャッチし、秋田での生活を存分に楽しんでいる先輩方がたくさんいます。

オフは何をしていますか？

休日はドライブをして県内を巡っています。秋田県は面積が広く地域によって特色が様々なので、おいしい食べ物や観光スポットなど、ドライブのたびに新しい発見があります。

また、年次休暇や夏季休暇を利用して、年に2回ほど県外へ旅行に出かけてリフレッシュしています。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、一言！

秋田県職員になると、今まで知らなかった秋田の魅力を発見することができます。秋田のことがもっと好きになります。

秋田県をより良くしていくため、ぜひ一緒に働きましょう！